

日程表 第1日目 7月6日 (水)

	第1会場	第2会場	第3会場
9:00	会長挨拶		
30			
10:00	シンポジウム1 COVID-19で起きた核酸を軸とした 新規モダリティの新展開 座長：石井 健 熊ノ郷 淳	シンポジウム2 臨床応用に至ったiPS細胞研究の最前線 座長：妻木 範行 高橋 淳	シンポジウム3 マイクログリア、アストロサイトによる 中枢神経恒常性維持とその破綻 座長：奥野 龍禎 竹内 英之
30			
11:00			
12:00	特別講演1 iPS細胞を用いた角膜再生医療 座長：熊ノ郷 淳 演者：西田 幸二		
30			
13:00	教育講演1 膠原病に伴う間質性肺疾患の治療の進歩 座長：亀田 秀人 演者：田中 良哉 共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社 医薬開発本部	教育講演2 TNF阻害療法の現状と展望 座長：三森 経世 演者：加藤 将 共催：ヤンセンファーマ株式会社/ 田辺三菱製薬株式会社	教育講演3 IL-6阻害療法の現状と展望 座長：黒坂大太郎 演者：南木 敏宏 共催：旭化成ファーマ株式会社
30			
14:00	会長講演 免疫研究と臨床応用～ベーチェット病病態と 神経免疫代謝連関の話題を含めて～ 座長：安岡 秀剛、演者：熊ノ郷 淳 共催：アムジェン株式会社		
30			
15:00			
16:00	シンポジウム4 組織再生医療の将来を拓く 技術イノベーション 座長：田畑 泰彦 玉井 克人	シンポジウム5 腫瘍微小環境と炎症・免疫制御 座長：西川 博嘉 小山 正平	シンポジウム6 骨恒常性と炎症性骨破壊の機構 座長：中島 友紀 山岡 邦宏
30			
17:00			
18:00	教育講演4 関節リウマチ治療における フィルゴチニブの臨床的意義 座長：高柳 広、演者：藤井 隆夫 共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社/ エーザイ株式会社	教育講演5 オルミエントの有用性を考える 座長：山岡 邦宏 演者：右田 清志 共催：日本イーライリリー株式会社	教育講演6 SLEにおけるT2Tの実践： 長期的な臓器障害抑制を目指した治療戦略 座長：尾崎 吉郎 演者：渡部 龍 共催：グラクソ・スミスクライン株式会社
30			
19:00			
30			
20:00			
30			
21:00			
30			

日程表 第2日目 7月7日 (木)

	第1会場	第2会場	第3会場
9:00			
30	教育講演7 関節リウマチ治療におけるIL-6標的の意義 座長：熊ノ郷 淳、演者：中山田真吾 大型血管炎におけるIL-6の役割 座長：熊ノ郷 淳、演者：渡部 龍 共催：中外製薬株式会社	教育講演8 関節リウマチ病態から考える JAK阻害薬の有効性・安全性 座長：松本 功 演者：庄田 宏文 共催：ファイザー株式会社	教育講演9 女性関節リウマチ患者さんの ライフイベントを実現するために 座長：平田信太郎、演者：岡田 正人 共催：アステラス製薬株式会社/ ユーシービージャパン株式会社
10:00			
30	15	15	15
11:00	シンポジウム7 臓器間ネットワークを介した ダイナミックな生体制御の仕組み 座長：金井 隆典 村上 正晃	シンポジウム8 オルガノイド・再生医学の新潮流 座長：浅原 弘嗣 杉本 真也	シンポジウム9 生体イメージングによる 炎症・再生病態の診断と治療 座長：石井 優 椛島 健治
12:00			
30	15	15	15
13:00	教育講演10 全身性エリテマトーデスのB細胞分化異常と I型インターフェロンの関連 座長：藤尾 圭志 演者：太田 峰人 共催：アストラゼネカ株式会社	教育講演11 肺病変を合併する関節リウマチ治療の現状 座長：佐藤 慎二 演者：土橋 浩章 共催：小野薬品工業株式会社/ プリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社	教育講演12 重症喘息に対する生物学的製剤による 炎症制御の現状と展望 座長：井上 博雅 演者：高橋浩一郎 共催：サノフィ株式会社
14:00	特別講演2 エンドリボヌクレアーゼRegnase-1による 炎症・免疫・代謝の制御 座長：熊ノ郷 淳 演者：審良 静男		
15:00	シンポジウム10 免疫疾患における 分子標的療法の現状と展望 座長：椛島 健治 田中 良哉	シンポジウム11 がんの細胞療法の新展開 座長：吉村 昭彦 藤井眞一郎	シンポジウム12 微生物により惹起される炎症とその制御 座長：竹田 潔 鎌田 信彦
16:00			
30	40	40	40
17:00	優秀演題発表・閉会式		
30			
18:00			
30			
19:00			
30			
20:00			
30			
21:00			
30			